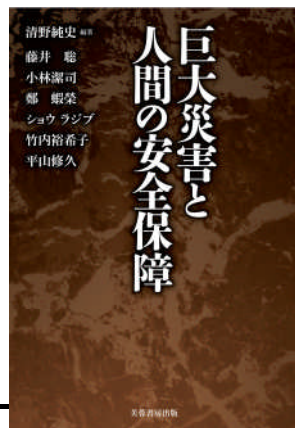


巨大災害と人間の安全保障



清野純史 (京都大学大学院工学研究科/地球環境学学教授) 編著 ISBN978-4-8295-0571-7
四六判ソフトカバー 定価 (本体 1,800円+税)

巨大災害時や復旧・復興における「人間の安全保障」確保に向けた提言！

- ・ 国土計画
- ・ 社会システム
- ・ コミュニティ
- ・ 人間被害
- ・ 健康リスク

5つのテーマで
東日本大震災の復旧・復興のあるべき姿を論じる

巨大災害発生前に備えておくべきことは？
次なる大災害に際して考えておくべきことは？
京都大学グローバルCOEプログラム「アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点」
の研究成果が提言としてまとめられた

第一章 日本復興計画—日本再生と列島強靱化—

藤井 聡 (京都大学大学院工学研究科教授)

震災という大怪我の治癒を/「常識」から逸脱した対応/大震災の「被害のかたち」/被災地は壊れた機械に非ず/「五ヶ年」で復興を/「ふるさと」と生業の再生/徹底的な被災失業対策を/復旧に基づくまちづくりを/「地域組織」の徹底活用を/国債で大規模財源を/「需要の縮小」がもたらす深刻な問題/「震災デフレ」を食い止めるためにも、「震災復旧・復興事業」の大規模推進を/「増税」で復旧・復興財源を調達することは避けるべき/国家存亡の危機に直面している日本/我が国に今最も求められている、強靱さ/強靱化のための国土計画の推進を……

間安全保障と防災/2004年インド洋津波の経験と教訓：避難警報への取り組み/警報システムと人々の行動—日本の過去の事例から—/ソーシャルメディアを通じた情報伝達/コミュニティ・ラジオを通じた情報伝達/災害時・復旧復興期における学校施設の役割と課題

第二章 災害の壁—安全・安心とコミュニケーション—

小林潔司 (京都大学経営管理大学院教授)

鄭 蝦榮 (京都大学大学院工学研究科特定研究員)

想定外の問題/災害の壁/災害ユートピア/情報の壁/信頼のコミュニケーション/信頼ネットワーク構築を目指して

第四章 地震・津波と人的被害

清野純史 (京都大学大学院工学研究科/地球環境学学教授)

地震と津波の力/物的被害から人的被害へ/人的被害の定量化/建物倒壊と人的被害の数値シミュレーション/人的被害発生メカニズム/人的被害の発生と内部空間被害/組積造建物と内部空間/東日本大震災から学ぶ人的被害の最小化

第三章 人とコミュニティと情報

ショウ ラジブ (京都大学大学院地球環境学学准教授)

竹内裕希子 (京都大学学際融合教育研究推進センター特定准教授)

2011年3月11日/バングラデシュにおける早期警戒と情報伝達/人

第五章 津波災害復興と健康リスク管理

平山修久 (京都大学グローバルCOE特定准教授)

東日本大震災での津波廃棄物発生量の推定/災害対応からみた海ごみ発生量/これまでの災害廃棄物にない新たな課題—津波堆積物/災害廃棄物計画策定システム/復興を見据えた災害廃棄物マネジメント/災害廃棄物からみた被災地復興への課題/東日本大震災における上水道システムの被害と特徴/上水道システムの被害予測/津波災害復興と水道システム

1月下旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 1月10日(木) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版		発注者	
巨大災害と人間の安全保障			
【新刊】	本体 1,800円	部	